



# 選挙公報

## —平成27年4月12日執行— 大阪市議会議員選挙

生野区選挙区(定数5)

投票は午前七時から午後八時まで

自由民主党公認市会候補

# 黒田まさし



わかりやすい政治 身近な政治

①教育課題に全力で取り組みます

- \* 教頭・教員・講師不足等現場が大ピンチ
- \* 専門家の配置等、図書館活性化
- \* 中学校給食を一旦家庭弁当との選択制に
- \* 住民無視の強引な統廃合でなく、丁寧な話し合いを

②将来の生野区の街づくりを

- \* 老朽危険空き家対策をすすめます
- \* 大池橋を通る地下鉄8号線実現のため、BRT(10分間隔の定時制バス)の運行で需要喚起

③いわゆる都構想(大阪市 廃止・分割論) 絶対反対!!

- \* 当初声高に言われた効果額 4000億円は どんどん減ってわずか1億円に!
- \* 再編コストは行政分だけで680億円 皆様の封筒・名刺・看板などの費用や、銀行手続きなどの負担がかかります!
- \* 財源・権限・活力など失うものが多いです!



経歴 鶴橋幼稚園・小学校卒  
大阪星光学院中・高卒  
早稲田大学卒・サラリーマンを経て  
大阪市議会議員4期連続当選

現在 大阪市会運営副委員長  
教育子ども委員会代表委員  
自民党大阪府連副幹事長

私達は、黒田まさし君を推薦します

衆議院議員 石破 茂  
衆議院議員 小泉 進次郎  
参議院議員 北川 イッセイ  
参議院議員 柳本 卓治  
衆議院議員 大西 宏幸  
大阪府議会議員 朝倉 ひでみ

市会候補

# かくたに



庄一

One Osaka!

大阪維新の会

## 情熱と行動力

生野区生まれ生野区育ち

教育・医療・子育ての充実

かがやきとのぞみある大阪へ!

かくたにの決意!!

- 1 みんなの想いを乗せて改革を前進
- 2 区長公選制で住民ニーズを反映
- 3 現役世代への重点投資で元氣のある大阪へ
- 4 教育・子育て施策の充実で住みやすい環境の整備
- 5 観光都市大阪! 観光客数の倍増実現へ

かくたにのプロフィール  
1977年9月8日生まれ(37才)  
妻・(1男・2女)の3児の父  
大阪の新興小学校・新生野中学校  
大阪桐蔭高等学校・桃山学院大学卒業  
2011年4月21日(第21回)の当選  
閣議総務委員・文教経済副委員長  
財政西広域連合議会議員等を歴任

## カジノなどムダな大型開発より 中小企業、くらし、福祉優先の市政に

橋下市長が進める「大阪都」構想は、①大阪市と生野区をなくし、②市財政の4分の3を府に吸い上げて、市民のくらしをこわし、③一人の指揮官(知事)が大型開発やカジノ誘致など何でもできる体制をつくることです。「都構想」にストップをかけ、中小企業・くらし・福祉を最優先する市政に変えます。

健康・福祉・介護最優先の市政を

- 国保料・介護保険料を引き下げます
- 特別養護老人ホームを増設します
- 障がい者・児支援を強化します

子ども第一の教育施策の充実を

- 保育所を増設し、安心して働けるようにします
- 保護者・関係者の声を無視した学校統廃合はさせず、少人数学級を実現します
- 自校調理方式のあたかい中学校給食に改善します
- 子どもの医療費助成を「高校卒業まで」に拡充します

区民の足を守り住みよい生野区に

- 市バスの廃止路線とコミュニティバスを復活します
- 敬老パスの「一回50円」負担はやめさせます
- 地下鉄今里筋線延伸の早期着工を求めます

くらし・営業・雇用を守る政治を

- モノづくり企業の設備リース料補助や経営アドバイザー派遣をします
- ブラック企業やブラックバイトへの指導・監督を強化します
- 住宅リフォーム助成制度を創設します
- 新婚家賃補助制度を復活し、若者のくらしを応援します

「戦争立法」ストップ 憲法9条守りぬきます

プロフィール 党・生野天王寺地区委員長。1953年兵庫県生まれ。府立豊中高校卒。生野医療生協副理事長、関西中小工業協議会事務局長などを歴任。



市会候補  
柴山のぼる  
日本共産党

Profile

山田まさかず (やまだ 正和) 48歳  
大阪市議員1期。公明党大阪府本部青年局長。  
昭和41年6月8日、生野区中川生まれ。聖美幼稚園、  
中川小学校、大池中学校、住吉高等学校、鳥取大学工学部卒。

議会経歴: 民生保健委員会委員、文教経済委員会副委員長、  
財政総務委員会副委員長、交通水道委員会委員

## 山田まさかずビジョン

- ◆ 独居等の高齢者への地域支援体制の強化
- ◆ 高齢者ボランティアポイント制度の創設
- ◆ こども医療費助成制度の所得制限の緩和

- ◆ 中小零細企業の技術・経営革新への支援
- ◆ 若者のための雇用対策
- ◆ 生野グルメを発信し観光客を誘致

- ◆ 現行区から総合区へ予算執行権を移管
- ◆ 総合区による議員定数の削減
- ◆ 都市間連携を強化し強い「新しい大阪」へ

公明党 生野区 大阪市議員  
山田まさかずホームページ  
山田まさかず 検索

http://www.komei.or.jp/km/osaka-yamada-masakazu/



「一人の声」を大切に、  
2000件を超える市民相談を受けてまいりました。  
これからも最も身近な地域の担い手として、市民  
目線で皆様から頂いた要望をひとつひとつ実現してまいります。



生野の未来を創る  
確かな実現力!!  
公明党公認市会議員候補  
やまだ

## 顔が見えるまちづくりで すべての人に出番と居場所を!!

議員・議会の見える化を進めます!!

- 議員になって一番言われること  
「議員は何をしているのか分からない。」  
「議会で何をしているのか分からない。」

生野区の地域特性・特徴にあつた  
まちづくりを進めます!!

- 生野区の現状をご存知ですか?  
高齢化率...29.9%(市内24区30位 平成26年) 人口減少率...1,248人(市内24区30位 平成26年)  
空き家率...21.0%(市内24区30位 平成26年) 死亡数...1,680人(市内24区30位 平成26年)  
高齢者がいる世帯の7割が高齢者のみの世帯、そして4割が1人暮らしです。

- 対話による政策づくりを行い皆さんが議会へ参画できる仕組みをつくりまします。
- 議会改革を行います。  
・政務活動費を公開します。  
・議員定数の見直しを行います。
- 区長に区の仕事をデザインできる予算と権限を委譲します。

こうした現状を背景として  
生野区の課題は複雑多様化しています

孤立死の増加、子育て世帯の孤立化、ひとひとのつながりの希薄化、まちを支えてくれる活動主体の減少、担い手不足、後継者不足。これらの課題解決に向けて、役所、住民の皆さん、企業、NPOそれぞれができることを出し合って解決していく必要があります。

わたしたちは武なおきさんを応援します

前大阪府議会議員 西脇 くにお  
医療・介護・保健従事者が元氣になる会 岡崎 和佳子  
市民活動家・大阪大学客員教授 早瀬 昇

プロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会学部社会学専攻修士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会職員として7年間、生野区の福祉のまちづくりに携わる。NPO法人いくの市民活動支援センターを立ち上げ、社会福祉士・ケアマネジャーとして、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。子ども3人(2月に男の子が生まれました)と妻の5人暮らし。

どうするの?

- ① 空き家問題×高齢者の孤立の課題×子育て世帯の孤立の課題  
● 地域の皆さんがつながる場を町会ごとにつくりまします。
- ② 空き店舗の課題×地域のひとひとのつながりの希薄化×商店街の集客  
● 近所の助け合い活動に商店街で使える地域通貨を導入します。  
● アーティスト・若手起業家の活動の場、発表の場を商店街につくりまします。
- ③ 空き家問題×密集市街地の防災の課題  
● 防災空地に協力してくれる空き家除去に補助金制度を創設します。

すべての人に出番と居場所ができるようお互いの顔が見える関係をつくる中で、一緒に取り組めるまちの課題を協働しながら、弱みを強みに変えて解決していきます。

だからこそ、対話による政策づくりが必要です!

# 木下 誠



Makoto Kinoshita

きのしたまことプロフィール  
昭和四十一年大阪生まれ  
上宮高校・関西大学法学部卒業  
(中高・大学時代は野球部で活躍)  
元法務大臣左藤恵秘書  
元大阪府議会議員長森野光晴秘書  
大阪府議会議員(当選二回)  
こたえる若さ。かなえる力。

木下誠はぶれずに維新  
大阪都構想を実現する!!  
「大阪都構想」それは、大阪府と大阪市の統合・再編です。大阪府が巨大すぎる基礎自治体であるためこれまで府と市の「二重行政」をはじめ、様々な税金の無駄遣いが行われてきました。「成長は広域行政。安心は基礎自治行政」という役割分担を明確に、これまでの無駄を徹底的に排除し、改革を一層推進させ、役所組織の適正化、府市の統合・再編が必要です。生野区のみならず、一緒に大阪の活力を取り戻したいのです。よろしくお願ひします!

木下 誠候補が維新の原動力です。橋下 徹  
力をあわせ大阪を元気にします!!

まよわずこの人に一票を!!

(この公報は、公職選挙法第百六十九条及び大阪市選挙公報条例第四条の規定により候補者からの原稿を原文のまま掲載したものです。)

必ず投票しましょう

発行 大阪市選挙管理委員会